

# 安全データシート

Safety Data Sheet (SDS)

## 1. 製品及び会社情報

製品名 : ジアリフレ  
弱酸性次亜塩素酸水溶液 400ppm  
(バッグインボックス : 5/10/20L)

会社名 : 株式会社星光技研

住所 : 長野県長野市柳原 1573

担当部署 : 品質管理室

電話番号 : 026-243-4066

FAX番号 : 026-244-3455

推奨用途及び使用上の制限 : 除菌・消臭

## 2. 危険有害性の要約

GHS 分類 (分類されないもの、及び区分外は省略)

物理化学的危険性 : -  
健康に対する有害性 : -  
環境に対する有害性 : -

GHS ラベル要素

絵表示 : なし  
注意喚起語 : なし  
危険有害性情報 : なし  
注意書き : なし

## 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

化学名 : 次亜塩素酸水溶液 (HClO)  
次亜塩素酸水溶液は国連分類番号に該当しない。

成分及び含有量

主成分 : 次亜塩素酸  
有効塩素 : 400ppm (製造時)

適用法令関連成分 : 該当しない

(合計 100ml 中の成分)

原材料	次亜塩素酸ナトリウム	塩 酸	水
含有量	約 0.334ml	約 0.3ml	約 99.366ml
化学式又は構造式	NaClO	HCl	H <sub>2</sub> O
CAS No.	7681-52-9	7647-01-0	—
国連分類	class8 1791	class8 1789	—

#### 4. 応急処置

かぶれや痛みなどの異常を感じ処置が必要な場合

- 目に入った場合 : 清浄な水で流しながら洗浄した後、刺激が継続するようであれば眼科医の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 水又はぬるま湯を流しながら洗浄する。石鹼を使ってよく洗い落とす。汚染した衣類は洗い落としてから着用する。
- 吸引した場合 : 空気の新鮮な場所へ移動する。
- 飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄する。

#### 5. 火災時の措置

不燃性のため不要

#### 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 漏れた場所は滑りやすいため注意する。
- 保護具及び緊急時措置 : 流出を防止し、ウエス等に吸収させ空容器に移す。残りは水で洗い流す。
- 環境に対する注意事項 : 流水は弱酸性で有機物に触れると有効成分が分解され、水に近い性質になるため問題ないが、念のため水で薄めて洗い流す。
- 除去方法 : ウエス、雑巾等で良く拭き取る。
- 二次災害防止策 : 床に漏れた状態で放置すると、滑りやすくスリップ事故の原因となるため注意する。漏出物の上をむやみに歩かない。

#### 7. 取扱及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 該当しない
- 注意事項 : 飲料水ではないので、飲用しないこと。
- 安全取扱注意事項 : 皮膚や粘膜の弱い方は、念のため直接触れないよう保護手袋を着用する。

保管

適切な保管条件 : 子供の手が届かないよう、直射日光を避け、密閉状態で 20℃以下のなるべく涼しい暗所で保管する。

本製品は経時変化により有効成分が失活する性質がある。

当社での試験の結果、20℃の室内で保管時、6か月後に2割程度低減することがわかっている。そのため、通常商品の場合6か月を最大使用期限とするよう推奨する。

安全な容器包装材料 : ポリエチレンなどの耐食性材料で製作した遮光性のあるものを推奨。

8. 曝露防止及び保護措置

管理濃度 : 設定されていない

許容濃度 : 日本産業衛生学会（2014 年度版）  
0.5ppm 1.5mg/m<sup>3</sup> (Cl<sub>2</sub> 最大許容濃度)

設備対策 : 不要

保護具 : 通常の取り扱いでは特に必要ない。状況に応じて保護手袋を使用する。

呼吸器の保護具 : 不要

手の保護具 : 不要

目の保護具 : 不要

皮膚及び身体の保護具 : 不要

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状态 : 液体

色 : 無色透明

臭気 : 軽い塩素臭

pH（水素イオン指数） : pH5.5～6.5

沸点 : 約 100℃

蒸気圧 : データなし

比重 : 約 1.01 (20℃)

融点 : データなし

溶解性 : 水に溶ける

引火点 : データなし

発火点 : データなし

有効塩素 : 400ppm（製造時）

避けるべき材料 : なし（金属類の錆発生及び染色布の色落ちが起きる場合がある。）

危険有害な分解生成物 : なし

## 10. 安定性及び反応性

### 人体に対する注意事項

- 安定性・反応性 : 直射日光、紫外線により成分の分解が促進されるので、直射日光を避けて保管運搬する。
- 反応性 : 有機物との接触により有効成分が分解・除菌し、水に近い性質に変化する。
- 避けるべき条件 : 酸類、塩類など、他の液剤との接触。直射日光、高温、凍結を避ける。
- 避けるべき材料 : アルミニウム・ステンレス・鉄などの金属、ナイロン、ウレタン等は腐食する恐れがあるので、本製品使用後は十分に水で洗い流す。
- 混触危険物質 : 水を除く他の溶液と混ぜない。(塩素ガス発生の恐れあり。)
- 危険有害な分解生成物 : データなし
- その他 : データなし

## 11. 有害性情報

- 単回投与毒性試験 : 状態異常、体重変化、剖検で異常は見られず  
【試験内容／400ppm】  
マウスに対し、ジアリフレを 20ml/kg 単回経口投与後、14 日観察
- 皮膚一次刺激性試験 : 検体は「無刺激性」の範疇にあるものと評価  
【試験内容／400ppm】  
皮膚に傷のあるウサギに対し、ジアリフレを 0.5ml 塗布したパッチを接触させ、72 時間観察
- 眼刺激性試験 : 検体は「無刺激性」の範疇にあるものと評価  
【試験内容／400ppm】  
ウサギに対し、ジアリフレを 0.1ml 点眼後、1, 24, 48, 72 時間のちに観察
- 急性吸入毒性試験 : 一般状態、剖検で変化は見られず明らかな毒性変化を惹起しないものと結論した  
【試験内容／80ppm】  
専用噴霧器を用い、6 畳間の 13 倍に相当する条件でラットに 4 時間吸入暴露し、14 日間観察

## 12. 環境影響情報

- 生体毒性 : データなし

分解性	: 有機物と反応すると有効成分が分解されるため、環境への負担はきわめて小さい。
残留性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壌中移動性	: データなし
その他	: データなし

### 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 危険・有害物ではないので、そのまま下水に流して問題ないが、環境への影響を考慮して水道水で希釈中和して廃棄する。
包装容器	: 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

### 14. 輸送上の注意

国内規則	: 危険物に該当しない。
陸上輸送	: 消防法、労働安全衛生法等に定められている輸送方法に従う。
海上輸送	: 船舶安全法に定められている輸送方法に従う。
航空輸送	: 航空法に定められている輸送方法に従う。
国際規則	: 航空輸送はIATA、海上輸送はIMDGの規則に従う。
国連分類番号・国連番号	: 該当しない
IATA : UN Number	: 該当しない
IMDG : UN Number	: 該当しない
輸送上特定の安全対策及び条件	: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。直射日光を避け、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。
緊急時応急処置指針番号	: なし

### 15. 適用法令

労働安全衛生法	: 該当しない
化学物質管理促進法（PRT法）	: 該当しない
消防法	: 該当しない
海洋汚染防止法	: 該当しない
毒物及び劇物取締法	: 該当しない
食品衛生法	: 該当しない
薬機法（旧薬事法）	: 該当しない
消費生活用製品安全法	: 該当しない
家庭用品品質表示法	: 該当しない

## 16. その他の情報

### 記載内容の取扱い

本記載内容は現時点で入手できる資料・情報データに基づいて作成しており、新しい知見により改正されることがあります。また、注意事項は通常の実用を前提としたものであり、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取り扱い願います。本文書の記載内容は、当社の最善の知見に基づくものですが、情報の正確さ、安全性を保証するものではありません。重要な決定等にご利用される場合は、試験によって確かめられることをお勧めします。